潮かぜ

うしおかぜ

https://yorii.city-niigata.ed.jp/

新潟市立寄居中学校学校だより

令和７年１月１７日（金）発行

教育目標

【生きがい　思いやり　自治の力】

冬休み明け全校集会での校長先生のお話

寄居中学校の皆さん、明けましておめでとうございます。夢と希望に満ちた新しい年が始まりました。いつの時でも、新しい年というとフレッシュな気持ちが沸き起こってきます。新年を機に新たな夢を描いて、新しい道を歩んでいきましょう。

年が明けた令和７年の干支は「乙巳(きのとみ)」です。

「乙巳」という言葉が表す意味として、

【乙：きのと】

○「木」の要素をもち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味をもつ

【巳：み】

○巳（蛇）は神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルとされています

まとめると、“再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく”という意味で、『柔軟な心と知恵をもって、新たな挑戦に立ち向かう』ということなのだそうです。人生は新たなことへの挑戦なくして成り立ちません。中学生の皆さんは、まさに新たなことへの挑戦だらけです。恐れずひるまずどんどんと挑戦していってください。

さてみなさん、サトイモを知っていますか？少し粘り気のあるお芋です。新潟県では五泉市が産地として有名です。このサトイモの洗い方ですが、農家の方が出荷するために大量にサトイモを洗う様子をテレビで見たことがあります。大きなたらいに水を張り、そこに大量のサトイモを入れます。そして大きめの板をたらいの中に立てると、板をねじるようにしてサトイモごとかき回します。すると、板の動きでサトイモ同士がこすれあって、泥だけでなく表面の黒い皮もとれていくのです。洗い終わった芋を見たら、泥や汚れがきれいにとれ、おいしそうなサトイモになっていました。

この様子を見て、これは学校生活と同じ部分が多いなと感じました。学級で、部活動で、生徒会活動で、友だち同士とのふれあいの中で、協力したり意見の相異などで悩んだり苦しむ中で成長していきます。このように人は他の人とふれあう中で、サトイモのようにお互いが磨き磨かれ、一歩一歩大人に近づいていくのです。人との関わり合いを通して、心の成長がもたらされるのです。みなさん、どうかお互いを磨き合いながら、ともに成長していけるように生活していきましょう。

それでは、令和７年が寄居中学校の生徒の皆さんにとって素晴らしい年であることを祈って、学校生活を再開しましょう。

〈１２月のスナップ〉

【１２月３日　生徒会三役任命式】